

補助事業評価シート

番号	57	章	施策33 魅力ある買物空間づくり
----	----	---	------------------

補助事業名	魅力ある商店街づくり支援事業	所管部課	地域文化部産業振興課	事業開始年度	平成15年度
根拠法令(要綱)等	新宿区魅力ある商店街づくり支援事業実施要綱				
19年度決算額 補助率	53,790,000 円 2/3	補助対象団体(者)	区内商店街等		
補助することで達成しようとしている区の目的	地域の特性を活かした、にぎわいと魅力ある商店街づくりを支援するためです。				
団体(者)に対する直接の助成目的	区内商店街の集客力強化及び活性化を図り、地域経済の発展に寄与することです。				
補助金の申請	補助金の交付申請にあたって提出する書類・添付書類 提出書類: 交付申請書 事業計画書 経費別明細書 添付書類: 前年度及び当該年度の総会資料等 商店街の状況写真 見積書等 業者選定経過調書等	清算/実績報告にあたって提出する書類・添付書類 提出書類: 実績報告書 事業実績書 経費明細書 事業効果報告書 添付書類: 契約書 仕様書 完了・検査書 引渡書 会計帳簿 預金通帳 請求書・領収証 記録写真その他			
	審査の体制・考え方(区職員による審査又は公募委員を入れての審査、補助金の目的とする具体的な取組内容を記載した事業計画書を提出しているか・どのように審査しているか等) 各申請における事業内容(計画)が補助金交付の目的に適合しているかどうかを審査会で審査し、承認された事業を交付決定します。 審査委員: 区産業コーディネーター・商工相談員など 主な審査項目: 事業の緊急性、必要性、効果、独自性等	審査の体制・考え方(清算/実績報告時の審査体制、助成の目的・決定内容に照らして、自己評価・活動成果の公表状況を踏まえ、予定していた目的・成果が達成できたか・どのように審査しているか等) 実績報告書の事業内容及び提出書類内容を審査し、必要に応じて現地調査等を行い、事業の成果が補助金交付決定の内容及びこれに付した条件に適合するか調査します。			
今後の課題	商店街の施設整備等は多額の経費を要するものが多く、商店会にとっては負担が大きいため、今後も区の支援が必要です。また、更なる集客力強化のため消費者ニーズの変化を踏まえたシステムづくりや、高齢化対策等の地域社会の変化に対応した施設を整備していく必要があります。				
補助金の評価	総合評価(A・B・C・D)とその理由 この補助金の総合評価はBです。 理由は、本事業を実施した全ての商店会から事業効果が高いと評価されている点と、多額の経費を要することが多く商店会にとって大きな負担となっている施設整備事業に対して、区が支援することで、商店街の良好な環境整備につながるものと評価できるからです。 区と補助対象者との役割分担 この補助金は、各商店会が区民ニーズにあった快適な買物空間づくりを図るため、企画立案した各種事業を実施し、区はその事業経費の一部を負担し、魅力ある商店街づくりを支援します。 目標の設定 目標設定は、各商店会が補助事業を効果的に活用することで、商店街のにぎわいや快適な街づくりにつながるなど、地域の活性化を促すとの理由により、区民ニーズを踏まえたもので適切です。 代替手段・効率性 この補助金は、事業を実施した商店会から高い評価を得ており、商店街の「魅力ある買物空間づくり」を促進するために効果的に活用されていることから、費用対効果から見て、効果的・効率的に行われていると言えます。 目標の達成状況 この補助金で商店会の施設整備等の取組を区が支援することにより、人が集まり交流する、安心安全な楽しい買物空間づくりへの効果があることから、魅力ある商店街づくりの支援に繋がるものと言えます。				
今後の改革方針	今後も、時代の変化に合った区民ニーズ等を踏まえ、安心・安全な買物空間づくりによって継続的な集客力の確保、また地域経済や地域コミュニティの発展に寄与できるよう、商店街の施設整備事業等に対し、適切な支援を行っていきます。				